

七、將來ノ予倒  
ノ他ノ関係等考慮ノ上何レ後日回答スル旨ヲ答ヘタリ

會社倒ハ解雇取消ニ對シテハ強對應セズ解雇手當ニ多少讓歩ヲ為ス意向ナレカ其ノ他ニ對シテモ財界不況ノ折衝勿論拒絶スルノミナラス此際組合倒ニアリテ批駁スルカ如キ場合斷然止ラ契機トシテ老朽淘汰等ノ処置ヲ講ゼントスル意向アリ組合倒ニ於テモ大体一般氣乘薄ニテ只幹部等ヲ從來ノ行態上以テ罪ニシラザルニ如ク今後罷免案ニ附ルカ如キ事可也カレハク思科マラレ高注意中

（通）報候也

6. 6. 23  
2136

芳秋第二四八二號

昭和六年六月十九日 警視總監 高橋守雄

内務大臣 安達謙藏殿  
鐵道大臣 江木翼殿  
社會局長 官殿  
各廳村縣長官殿  
八廳村縣

玉川電氣鐵道株式會社芳秋爭議ニ関スル件（第二條目第百廿五號）

要旨（從業員側ハ強硬手當ニ對シテ六月十七日午前午後二時ニ涉リ報告演說會ヲ開催決議シテ作成會社ハ態度之拒絶シ（案勢ヲ極メタルニ懸動薄）

標記爭議ハ其後當時者ニ於テ何等ノ交渉ナク経過シ居レルカ組合側ニアリテハ既報歎願書提出後ノ対策トシテ演說會ノ開催セラルル其ノ狀況左ニ